

学校保健法による出席停止について

幼稚園、小・中学校では、感染症を予防するため、感染した園児・児童・生徒に対して出席停止を行うことがあります。これは、学校保険法第12条に基づき、幼稚園、学校での集団発生を防ぐとともに、健康の回復を図るためです。出席停止になった場合は、欠席扱いにはなりませんので、家庭でゆっくり休養させてください。なお、出席停止の対象となる伝染病、出席停止時の手続きについては、下記の通りです。

第1種学校伝染病 治癒するまで出席停止とする。

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、コレラ、細菌性赤痢、ジフテリア、腸チフス、パラチフス、痘そう、重傷急性呼吸器症候群(SARS コロナウイルスに限る)

第2種学校伝染病 学童(幼児)によく起こる伝染病。診断がついたら学校(園)へ速やかに連絡する。

病名	主要症状	感染経路	潜伏期	感染期間	出席停止期間の基準	備考
インフルエンザ	高熱(39~40℃) 関節や筋肉の痛み 全身倦怠感 咳・鼻水・のどの痛み	接触 飛沫	1~2日	発病後 3~4日	発症した後(発熱の翌日を1日目として)5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで	肺炎や脳炎などの合併症に注意。 発熱や意識の様子に気をつける。
百日咳	コンコンという短く激しい咳が続く	飛沫 接触	6~15日	1~4週	抗菌剤による治療終了まで	3歳以下の乳幼児は肺炎を合併することがある。
麻疹(はしか)	発熱と同時に発疹 リンパ節腫	飛沫	10~12日	発疹が出る前5日~ 出た後3~4日	解熱後3日を経過するまで	肺炎や脳炎を発症することがある
結核	発熱・咳・全身倦怠	飛沫 経口接触	4~6週		症状により、医師が感染の恐れがないと認めるまで	結核性髄膜炎に注意。 圧倒的に肺結核が多い。
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発熱、耳下腺 顎下腺、舌下腺腫脹	飛沫 接触	2~3週	耳下腺の腫れる前7日~ 腫れた後9日間	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発見した後、5日間を経過し全身状態が良好となるまで	思春期以後の感染では、睾丸炎、卵巣炎の合併に注意
風疹(三日はしか)	発熱と同時に発疹、 リンパ節腫脹	飛沫 接触	2~3週	発疹が出る7日~ 出た後7日間	発疹が消失まで	妊娠初期の感染は、リンパ節の腫れ。 奇形児出産率が高い。
水痘(水ぼうそう)	腹部、背中から全身に 広がる丘疹が水泡、痂皮へと変化する	飛沫 接触	2~3週	発疹が出る前1日~ すべての発疹がかさぶたになるまで	すべての発疹が痂皮化するまで	
咽頭結核熱(プール熱) (アデノウイルス感染症)	発熱、咽頭痛、 眼球充血、眼脂	飛沫 接触 (結膜)	5~7日	発病してから 2~4週間	主な症状が消失して2日を経過するまで	医師の許可があるまでプールには入らない。

第3種学校伝染病 病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるまで。

★ 流行性角結膜炎(はやり目)	目の異物感 充血 まぶたの腫れ 目やに 瞳孔に点状の濁り	飛沫 接触	4~10日		出席停止日数は症状に応じて医師が判断します (★印に関しては医師または幼稚園にご相談下さい。)	医師の許可があるまでプールには入らない。 溶血性尿毒症症候群などの合併症に注意。 急性腎炎・中耳炎 リウマチ熱に注意。 高熱後、長い咳に注意。 妊婦は感染しないよう 流行期には注意が必要。 水遊び実施期間中は完治証明書の提出が必要 医師の許可があるまで プールには入らない。 主な原因はロタウイルス 小型球形ウイルス(SRSV) アデノウイルス(40、41型)
★ 急性出血性結膜炎(アボロ病)	目の激しい痛み 結膜が赤くなる 異物感・涙が出る	飛沫 接触	1~2日	発病してから5~7日		
腸管出血性大腸菌感染症(O-157)	激しい腹痛 水様性の下痢、血便	経口 接触	4~8日			
ヘルパンギーナ	高熱(38~39℃) 咽頭発赤・のどの奥に 白い小さな水泡疹	飛沫 接触	2~4日	主な症状が治まるまで		
溶連菌感染症	発熱、咽頭痛、莓舌、 全身の発疹	飛沫	2~4日	主な症状が消失するまで		
異型肺炎 マイコプラズマ感染症	発熱・乾性の激しい咳 が続く 咽頭炎 胸部レントゲン陰影	飛沫	2~3週			
伝染性紅班(リンゴ病)	両頬に少し盛り上がった たんましのような 発疹。発熱	飛沫	1~2週	(症状出現後は感染力が弱い)		
手足口病	軽い発熱(2~3日) 小さな水泡が口の中 や手足にできる	飛沫 経口 接触	3~5日	のどから1~2週間 便から3~4週間		
★ 伝染性膿痂疹(とびひ)	からだに水泡ができる →破れて膿が出る。 かゆみ	接触 (水泡の 分泌物)	2~5日	水泡から膿の出る間		
流行性嘔吐下痢症	突発の嘔吐・下痢を主 症状とする。	経口 飛沫	1~3日	主な症状が回復するまで		
感染性胃腸炎(ノロウイルス)	吐き気・嘔吐・下痢 腹痛・発熱	経口 飛沫	1~2日	通常3日以内で回復	出席停止日数は症状に応じて医師が判断します。	効果のある薬は無い 脱水症状に気をつける 症状改善後も注意が必要

※出席停止の手続き

- * 対象となる伝染病に感染した時は、できるだけ早く園まで連絡して下さい。受診結果報告書または治癒連絡表(インフルエンザのみ)をお渡しいたします。医師の指示に従って、通園許可ができるまで充分休養させてください。
- * 登園する日には、受診医療機関にて受診結果報告書を記入いただき(インフルエンザの場合は、医師の指示に従って、保護者の方が「治癒連絡表」に必要事項を記入し)園へ提出下さい。